

論点メモ（労務管理－雇用関係助成金）

1. オンライン化は、e-Gov 申請のような申請プラットフォームで行えるようにすべきではないか。その際、電子証明書を省略すべきではないか。
2. 労務管理（雇用関係助成金）の 20%削減のためには、毎年のオンライン利用率の目標を設定して取り組むべきではないか。
3. 窓口を介さずに遠隔で質問・相談ができるように、
 - ①音声自動説明を導入してはどうか。
 - ②テレビ会議（ネットを活用）システムを活用してはどうか。
 - ③事前予約に基づく時間指定制を導入することにより、待ち時間を削減できないか。
4. 申請様式の簡素化の具体的内容を明示されたい。
5. 計画書の認定申請時と支給申請時に重複する情報を求めているか。
6. 従業員一人一人分について提出する必要がある教育計画等については、対象労働者全員分をまとめた様式に簡素化できないか。
7. 「助成金の種類が多く、どれが利用できるかわからない」という意見があるが、年間 100 件未満の助成金を含め、類似の助成金を整理・統合するなどして、助成金の種類を減らすべきではないか。
8. コスト計測結果（実施分）について示されたい。
9. 現在検討中の中小企業の生産性を向上するための設備投資の助成金について、既存の生産性向上計画を確認する枠組（中小企業等経営強化法等）を利用するなどして、事業者にとってワンスオンリーとできないか。